



(きれいだネー、お母さんのお花、先生が生けたのかしら)

みんなで築く郷土の文化

総合文化祭開かれる

みんなでできずく郷土の文化をテーマに「第15回富士市総合文化祭」が10月31日から11月23日まで七会場で華やかに開かれました。

市教育委員会と市文化連盟が開いたもので、会場の一つ、吉原市民会館では13日から15日までの3日間、美術、写真、盆栽、華道などを展示。

このほか、茶道や邦楽、舞踊、詩吟の発表が行われました。



(見事なお点前 結構です)



びわ
(琵琶の音もさえて……)



公園・空地の雑草 刈り取りに思う

富士市へ転入してきて一年八ヶ月。各町内に子どもたちがつどえる緑の公園があるこの街を、何とすばらしい市民中心の街だろう！と思いました。

ところが、この街に居住してまず感じたことは、市民の「無気力さ」だった。せっかく市でつくってくれた緑の公園を誰一人として清掃する人がいないことです。

つい先日、一日三時間、五日間をかけて、我が家の近くの土手の雑草刈り取りを行いました。結局全体の五分の三ほどしか手がけられませんでした。

二メートル余りにも伸びきった雑草の間からサツキ(市で植えた)が、現われたときには「まあ、お前こんな日当りの悪い所へ長い間……」と思わず胸を熱くしたものでした。

そして何より腹立たしく思ったことは、自分たちの財産を自分たちで守り得ぬ、私たち市民の不甲斐なさでした。

このようなことの解消のために、職員的身をもった行動が必要なきだと思っので次のことを提言します。

- 一、半年に一度、市側で市内の公園などの一斉清掃、雑草刈り取りを行う。
- 二、二ヶ月に一度、各町内で一斉清掃、刈り取りを行う。

(一市民)



(サーサー いくら、その奥さん番号札が反対だよ)



(椎の木を記念植樹)



(今夜はお父さんと魚で一杯ヨ)

二万人余の市民で

賑わった市場祭

農業祭

恒例の市場祭・農業祭が、11月15日富士市公設地方卸売市場で開かれました。年に一度、市民のみなさんに市場施設を開放して生鮮食料品の流通現場を見ていただくとう開いたものです。青果物、水産物、関連食品が飛ぶように売れ、この日、一番の呼び物、農業祭出品物のセリ市では慣れぬ手つきで、参加者がわれ先にと手を挙げハッスルしていました。

グループ訪問 ④8



市文化祭の出場にむけて
練習にはげむ団員

人数の割にはいいハーモニード。団員のほとんどが、若い頃コーラスをやっていたからだろうか。それとも指導（辻村典枝さん）の成果なのか。
練習場の元吉原公民館の窓の外には、松林が揺れている。「松風」の名が生れたのもうなずける。青春のノスタルジアをかき立てる曲目が多いようだ。
「写真に声が写らないのが残念ねエー。」美しく歳を重ねたいと願う婦人の集団。

(7)



プロフィール
昭和48年9月発足。団員15人。持曲40曲。練習は月2回午前中。リーダーは山口美沙子さん
連絡先は元吉原公民館。

松風コーラス